



19足総第24-2号
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 様

足寄町長 安久津 勝
(総務課企画財政室)



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼がありました標記について、別紙のとおり今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見を提出いたしますのでよろしくをお願いいたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

足 寄 町

道路は、物流や人の移動など安全で安心できる生活を確保し、地域の自立発展や交流促進を図る上で、欠くことのできない根幹的な社会基盤であり、とりわけ、地方においては、通学・通勤・通院・買い物などの移動に、また、経済・産業活動や救急医療などあらゆる活動を支える生命線となっており、都市部に比べると利用者は少ないが、その地域にとっては、なくてはならない真に必要な道路が多くあります。どこへ行くにも道路を通らなければならず、真に必要な道路の整備と、安全で安心して利用できるよう災害に強い道路網の整備や橋梁の耐震強化、老朽構造物の更新、分かりやすい交通案内の標識の設置、除雪や除草などの年間を通した適切な維持・管理・補修など、必要となる安定的な道路財源の確保が重要であります。

自動車だけでなく、歩行者や自転車など道路を利用する人たちの安全の確保やユニバーサルデザインによる道路整備など障がい者や高齢者・子どもたちにも優しい道路づくりを進める必要があります。特に、市街地などでは、ゆったりとしたゆとりのある歩道として、歩行者の安全を確保し、安心して散歩・散策ができるような歩行者に潤いと安らぎを与える快適な道路環境の整備が望まれます。

また、計画から完成まで長期にわたる事業については、常に内容の見直しを行い、地域住民の意見や費用対効果などを判断し、時代の変化により必要性の少なくなった事業については、すでに実施している事業であっても廃止も含めて再検討し、真に必要な事業を早急に行ない、効果を挙げていくことが必要です。

北海道の場合、広大な面積を有することから町と町との距離が長く、また、地方へ行けば行くほど公共交通機関が不十分な状況となっていることから自動車の利用による移動が中心となっており、道路に対する依存度は非常に大きくなっています。このため、移動のための所要時間の短縮、安全性の向上、円滑で快適な道路環境づくりなどの改善が求められています。

北海道の高速道路網の整備状況については、都府県に比べネットワーク化が進んでおらず、十分とは言えません。救急搬送や物流・観光・地域間交流など今後とも高速道路網の必要性は高く、完成年次を明示しながら早期完成を目指すことが必要です。地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、地方が真に必要なとしている道路整備を遅らせることなく進めるべきと考えます。

また、積雪寒冷地であることから、積雪や路面凍結などによる交通障害が起りやすく除雪体制の強化など冬道でも安全で安心できる道路の確保が必要です。

足寄町は、国道 241 号と 242 号が足寄市街地で交差し、十勝と釧路・網走を結ぶ交通の接点となっており、道東内陸の幹線交通網の要衝となっています。観光面でも阿寒国立公園と大雪山国立公園を結ぶ観光ルートの要衝として多くの観光客が往来しています。

本町では北海道ちほく高原鉄道「ふるさと銀河線」が運行していましたが、昨年 4 月 20 日の運行をもって廃止となり、町民の移動手段は自動車だけとなりました。ますます安全で安心して通行のできる道路の整備が必要となっています。

足寄町市街地では国道 241・242 号足寄市街地道路改良事業が行われていますが、町では道の駅「あ

しよる銀河ホール 21」の施設改修や駐車場の拡充・イベント広場の設置などの整備を行い、「道の駅」
「観光拠点」としての機能強化を図る予定です。道の駅と一体的に道路改良事業を展開していただき、
よりドライバーに親しまれ利用しやすい施設としていきたいと考えております。また、駐車場整備や
地中化による無電柱化など道路整備と一体となった魅力あるまちづくりへの支援対策が必要である
と考えます。

本町には、ふるさと銀河線に伴う跨線橋が 2 箇所ありますが、ふるさと銀河線の廃止により跨線
橋の必要が無くなり、跨線橋の解消が望まれております。特に、足寄跨線橋付近には急カーブがあり
交通事故が多発しております。この国道は、観光道路や物資輸送の幹線道路として交通量が多く、交
通事故により通行止めになると交通に大きな支障となります。また、愛冠跨線橋は、下愛冠団地が跨
線橋により分断される形となり団地内での行き来が不便な状態となっています。早急に改修が望まれ
ています。

北海道横断自動車道の整備が進んでおり、本町では平成 15 年 6 月 8 日に道東自動車道足寄イン
ターチェンジが開通しています。本別～釧路間、足寄～北見間を早期に整備することで、道東の主要
な都市である帯広市・釧路市・北見市を結ぶことができ、地域経済への波及効果が期待できます。清
水～池田間から清水～足寄間までと開通区間が伸びたことにより、高速道路の利用者が増えた事を見
ても、高速道路が延長し主要な都市を結ぶことができれば利便性は上がり、利用者増につながるもの
と思います。

また、高速道路の料金が高いという声もあり、料金の割引など料金を引き下げることによって利
用者増を図ることも可能であると思われれます。料金を割引しても、利用者が増えることにより収入を
増やすことができるものと思います。せっかく造った高速道路を利用者が少ない状態のままにしてお
くよりも、より使いやすくし、利用者を増やすことによって、高速道路の利便性・安全性・必要性な
どの理解を深めていくことが必要と考えます。

以 上